

土佐の高知のあぐりの子カララ

こうぐり

110110
一月号

二〇二〇
謹賀新年

特集
1

農業って、いいね!

農業の明るい未来を担う若者たち

特集
2

「こうぐり」発刊1周年!
～たくさん、おたよりいただきました!



あなたのJAに
おしゃします!

支所
探訪記 13



土長地区・三和支所

復活を願う声から 「みわマルシェ」として 再スタート!



10月6日(令和元年)、女性部南国市地区三和支部が第2回「みわマルシェ」を開きました。「みわマルシェ」は、平成18年から10年間続いたイベント「女のまつり」が終了した後、地域住民から継続を願う声があがり、一昨年に名前を変えて復活。朝から、地区内外からたくさんの方々が訪れました。今年も久礼田、岡豊、大篠支部の女性部員も出店。会場は、手作りの焼きそば、うどん、イカ焼きなどのいい香りでいっぱい。地域の子どもたちが楽しめる、お楽しみコーナーを設けるなど、復活を喜び、にぎやかなイベントとなりました。



【緊急時の連絡先】



24時間・365日の安心サポート!

- キャッシュカード、通帳、証書、印鑑紛失・盗難時の連絡先
JAバンクキャッシュカード
紛失共同受付センター ☎ 0120-55-3127
- JAカードの盗難・紛失専用ダイヤル
NICOS盗難紛失受付センター ☎ 0120-159-674
- 交通事故(起こしたとき・遭ったとき)
JA共済事故受付センター ☎ 0120-258-931
- ガス漏れ・事故等の緊急時のこと
JAエナジーこうち ☎ 0120-182-571

編集後記



統括本部
組織広報課
桑名 李果

あけましておめでとございます。旧年中は広報誌の取材等へご協力いただき、ありがとうございました。JA高知県発足とともに発行した広報誌「こうぐり」も1周年を迎えました。2ページに紹介していましたが、昨年は嬉しい出来事がありました。なんと、「こうぐり」が「日本タウン誌・フリーペーパー大賞」の企業誌部門で優秀賞を受賞したんです! これも皆様の協力と応援があつてこそ。今後も地域の食や農をはじめとする様々な情報を伝えられるよう、広報担当者一同、今まで以上に良い広報誌を作っていきたいと思っております。本年も「こうぐり」をよろしくお願いたします!

こうぐり 2020 1月号 令和2年 1月10日発行(毎月発行)

発行: JA 高知県 〒780-8511 高知市北御座 2番27号 TEL 088-894-5613(組織広報課)
印刷: (株)アイコー印刷 デザイン: 寺山 亜希 (TETORA design)



https://ja-kochi.or.jp



kouguri_official



とさのさと-JA高知県一



精そう、大地と地域の未来。

03 組合長挨拶

04 特集1 農業って、いいね！

農業の明るい未来を担う若者たち

08 トップニュース

09 輝け！新農人 「安芸地区」大北和さん

10 地区版 今月の気になる人

12 地区版 できごとピックアップ

14 地区版 役立っ！得する！情報 えいのう

16 地区版 みんなのひろば・お知らせ

17 ようこそJA教室へ 「高西地区」第13期 女性大学 なんでも作ろう色々つくろう！ 和気あいあい手作りワークショップ

18 特集2 「こうぐり」発刊1周年！
「たくさん、おたよりいただきました！」

20 花のある暮らし 「香美地区」スターチス

21 産地のオススメ 作ってみんかえく 食べてみんかえく 「幡多地区」イチゴのクレープ

22 コチットの直販所めぐり 「安芸地区」「あいあい広場」白菜

23 読者プレゼント

24 あなたのJAにおじゃまします！ 「土長地区」三和支所 支所探訪記



生産者 【幡多地区・四万十市西土佐】くろはら ひろふみ 桑原 宏文さん



表紙紹介 イチゴ

四万十市西土佐は、中央を四万十川が流れる中山間地域で、西土佐支所イチゴ部会の5戸が「さがほのか」「さちのか」「よつぼし」の3品種のイチゴを栽培しています。収穫期間は12～5月と長いですが、最盛期は3月。冬作の安定した収入源のひとつです。

広報誌「こうぐり」が優秀賞受賞！



授賞式(2019年11月29日)で賞状を受け取った小松藤雄常務



この度、JA高知県の広報誌「こうぐり」が、「日本タウン誌・フリーペーパー大賞2019」の企業誌部門で優秀賞を受賞しました。
「日本タウン誌・フリーペーパー大賞」は、平成23年に始まり全国各地のタウン誌やフリーペーパーに参加を募り、誌面のクオリティや読者の支持など、多彩な視点から審査し評価の高い媒体を選定して表彰するイベントです。今年、総エントリー数402誌のうち公的部門以外の企業・団体から191誌がエントリー。数ある部門のなか「こうぐり」は企業誌部門で最優秀賞に次ぐ優秀賞4誌の一つに選ばれ、「高知県の農業や農産品の魅力がよく伝わってくる冊子」と評価を受けました。
JAグループの広報誌が受賞するのは全国で初めてのこと。今後もより良い誌面作りを努め、地域の食と農に関する情報を幅広くお届けしていきます！

二〇二〇年一月 新年のご挨拶



地域と共に より良い未来へ

代表理事組合長 武政 盛博

前進

組合員の皆さま、明けましておめでとうございます。新年を迎えたと同時に、JA高知県は誕生1年を迎えました。昨年は、統合時に約束したことを一つひとつ実践し、そして統合によりご不便をかけることがないよう全力で取り組んで参りましたが、ご迷惑をお掛けした部分もあり、お詫びを申し上げます。本年は、より一層の気持ちを持って邁進していく所存です。

昨年を振り返りますと、JAグループではマイナスイ金利が続く金融情勢を踏まえ「持続可能なJA経営基盤の確立・強化」に向けた取り組みを進めてまいりました。JA経営基盤は、厳しい金融環境にあっても組合員・地域のための組織であることを念頭に議論を進めなくてはなりません。また、政府はTPP11・日欧EPAに続き日米貿易協定を可決承認しました。国際貿易の拡大は、畜産農家等をはじめ国内農業基盤への打撃が懸念されると同時に、食糧・農業・農村基本計画の見直しの時期でもあり、私たち国民の食糧安全保障の観点からも動向を注視し、国政にその声を届ける必要があります。

このような中、当JAでは自己改革をさらに進めるべく、4月に直販所「とさのさと」、9月には複合施設「とさのさとアグリコレット」と「とさのさと支所」を高知市北御座にオープンし、おかげさまで順調なス

ターゲット切ることができました。また、平成30園芸年度は単価安が影響し、取扱高604.6億円と前年度を下回りましたが、新たに設置した県外事務所の取扱量は増加していますので、本年6月の卸売市場法の改正に留意しながら、農家所得向上に向けて取り組みを進めます。広報活動では、11月に広報誌「こうぐり」が「日本タウン誌・フリーペーパー大賞」の企業誌部門で優秀賞に選ばれました。その成果を励みに情報発信力をさらに強化し、高知県産農畜産物の付加価値の向上や、食農教育にも力を入れていきます。

統合2年目の本年は更なる成果をあげるために、施設園芸をはじめ、農業の振興・生産基盤の拡充・販売力の向上・経営基盤の強化を構築していくなくてはなりません。具体的には、昨年、承認を受けました3か年計画を基本に直近の環境変化を加味したものに修正しながら、より精緻な計画の実践・進捗管理を行うようにして参ります。

経営理念である「組合員・地域の皆様と共に良い『未来』をつくる」ため、本年も農業・農村の発展に全力を尽くして「前進」してまいります。組合員の皆様におかれましては、変わらぬご指導・ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げ、新年のご挨拶と致します。

高知県立 高知農業高等学校

(南国市東崎)

命と向き合い、農業を学ぶ

今年で創立130年を迎える高知県立高知農業高等学校は、全国屈指の歴史を持つ農業高校。総合的な教養を身につけつつ、実習を交えながら農業に関連した専門教科で学べるのが特徴です。「農業総合科」「畜産総合科」「森林総合科」「環境土木科」「食品ビジネス科」「生活総合科」の6つの学科があり、現在約600人の生徒が在籍しています。

今、農業高校は、農業を教える学校から、農業でいろいろな命の大切さを、農業で教える学校に変わってきています。卒業後、農業系に行かない生徒も多いですが、普通高校ではできないことを体験してきたので、農業高校で学んだことを活かせるような人になってほしい。と、巣立っていく生徒を見守っています。



農業総合科 農場長
下川 一彦先生



畜産総合科長
松岡 秀和先生

実体験を通して
命の尊さを学んで欲しい

命ある植物や動物、
その大切さを
一番学んで欲しい

今まで、生きて

たんだなと実感。

昔から動物が好きで、命のことについて深く学びたいと思い、この学校を選びました。

実習などを経て、「命を育てて、その命をもらい、自分たちの糧にする」というサイクルを学び、命を取り扱う責任の重さは、農作物も畜産も同じだなと感じました。

放課後実習では、1年生は鶏、2年生は豚の飼育、3年生は牛の搾乳という担当で行います。私は2年生の初めから、農家ではあまり飼育しない特殊鶏を卵で取り寄せ、自分たちでふ化させて成長過程を見るという研究もしました。今年は夏の研究発表会に向けての準備もあり、大変でした。

実習のなかで、屠殺(解体)も経験しました。誰か育ててきて、愛着もわいたものを殺すとなる時は、やっぱり抵抗が……。命との別れと出合いは、気持ちが悪くもなったりいろいろあります。その経験があるからこそ、スーパーで買って来た食材も、今まで全部生きてたんだなと実感するようになり、以前より食事を大切にできるようになりました。

卒業後は、食品関係の会社に就職が決まっています。食材、食品が作られる工程など、学校で学んだことを活かしながらお客様にも伝えることができたらと思っています。



畜産総合科の生徒も参加する「畜産フェスティバル(乳牛共進会)」



「高農ふれあい市」や「高農フェスタ」では、販売と接客を通して、経営感覚などを学んでいます



高知農業高等学校・学科紹介

「農業総合科」
園芸や作物に関する栽培から流通、経営までを総合的に学び、環境制御型など新しい農業も取り入れた農業技術者、農業経営者の育成。

「畜産総合科」
牛・豚・鶏など家畜に関する知識・技術の他、畜産加工技術や地場産品の開発について学び、幅広い視野に立って、畜産や関連産業、動物産業に従事する人材の育成。

「森林総合科」
森づくりに必要な知識や技術を学び、林業や木材関連産業で働くために必要な資格も取得。

「環境土木科」
土木施工技術などを身につけ、農業人の立場から地域を支える土木技術者として活躍できる人材の育成。

「食品ビジネス科」
新しい地場産品の開発、幅広い食品ビジネス起業家の育成など、地域の食品産業を担う人材を育成。

「生活総合科」
食育の重要性や家庭生活への応用と実践力を身につけ、社会や時代の進展に対応できる人間性豊かな人材を育成。

衛生面に気を使ったり、製品の欠陥やお金の取り扱いなど、売れる側の視点で見られるのも勉強のひとつ。学外でも、地元のお店街で開くアンテナショップや県内のイベントなどにも参加し、広く活動をしています。

年6回開かれる、生徒たちが実習で栽培した農産物や加工品等の販売を行う「高農ふれあい市」は、始まる前から人が並ぶほどの人気イベント。6つの科、それぞれのブースに特色ある商品が並びます。生徒主体で行事をすることは、やりがいにもなり、販売を通じてコミュニケーション力や身につけてほしいという目的もあります。

生徒主体の行事も魅力

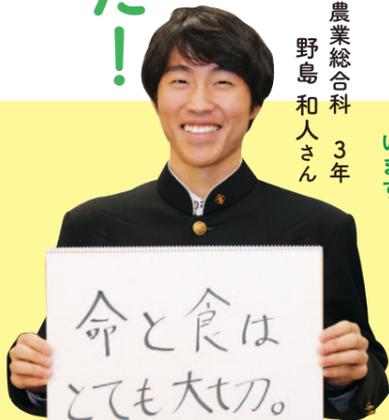


少子高齢化で農業人口が減る中、農業高校や農業就農する生徒は少ないですが、幅広い視点で実践次々巣立っていています。地域そして農業の未

来を担う若者たちが来を担う若者たち取材しました。

食材を
見る目が
変わった!

農業総合科 3年
野島 和人さん



GAP認証書交付の際には、チームリーダーを務めました。本番に向けての書類の準備が一番大変でしたが、チームのみんなと協力する大切さを感じ、将来自分が就農してGAPを導入するときは他の農家と一緒に協力して取り組みたいです。自分は大学に進学しますが、今後もいろんなことをどんどん吸収して将来につなげられたらと思っています。

家が農家なので、農業高校で学んだことが将来の就農時に応用できるのでは、と思いついて決めました。入学するまでは、農業を楽しいとは思っていませんでしたが、3年生となった今では、食と命の大切さを実習で体験できました。GAPやオランダ研修など新しい農業を学ぶ機会もあり、これまでの勤に頼ったアナログの農業だけでなく、難しいような世界が農業にも広がってきていると知りまし



農業総合科での田植え・定植

チームで取り組み、JGAPを取得!

昨年、高知農業高校は「玄米」としては県内で初めてJGAP認証を取得。GAPを取得することで、生徒自らが実践することができ、農業生産技術の習得に加え、経営感覚を兼ね備えた人材として必要な資質・能力の育成に繋がることができました。昨年9月、2・3年生13人からなるチームGAPを立ち上げ、農産物の安全や環境への配慮、労働安全対策などをチームで共有しながら準備。8月の認証公開審査を経て、10月に認証書が交付されました。



GAP(農業生産工程管理)とは
農産物の安全性などを確保するため、各生産工程を生産者自らが点検して改善に取り組む手法。2020年東京オリンピック・パラリンピックの選手村で使われる食材の調達条件にもなっています。日本版のJGAPのほか、国際認証である「グローバルGAP」などがあります。



研修先 農家(トルコギキョウ)
茂井 雅俊さん(安芸郡芸西村)

初めて小松くん会ったのは、1年生の農家研修の時でした。研修後も、何回かハウスに見学に来てくれ、トルコギキョウを栽培したいという強い意志を感じたので、先生に相談して正式に研修生として受け入ることを決めました。

これから農業人口は減ってくるので、農業をやってくれる若者がいるのはうれしいこと。しかも、トルコギキョウを選んでくれたことは本当にうれしいです。今後も精一杯技術を教えていきたいです。



農大生・VOICE
ただいま研修中!

農業の魅力は、
自分が満足できるまで
追求できること

園芸学科 花き専攻 2年
小松 鼓さん(安芸市出身)

祖父のユズ農家で手伝いをするうちに農業に興味を持ち始め、高知農業高校の農業総合科に進学しました。もっと知識を深めたいと農業大学校へ進み、将来就農するために勉強中です。農業大学校では、基礎から全て教わるので勉強になります。寮生活では、同じ目的をもった友人と、「どんな栽培をしているか、今日はいいものができた」など、意見交換できるのもいいですね。

現在、先進農家等留学研修でトルコギキョウ農家の茂井さんのもとで研修中です。学校とは違って多品種を栽培しているのが、それぞれの品種の特性が分かり勉強になります。来年4月からは、正式に研修生として受け入れてもらうことになりました。農業は、自分が満足できるまで追求できるのが好き。やればやるほど、疑問が出てきて、その解決策を考えるのがおもしろいです。経験を積んで、新しくハウスを建てて独立就農するのが夢。みんなに認めてもらえるような農家を目指して、頑張ります!

就農を目指す人や農業に関わる仕事に就きたい方なら誰でも入学可能です。令和2年度の一般・社会人募集は、2月14日～26日まで。興味のある方は、高知県立農業大学校のHPをご覧ください。



Instagram、Facebookでも情報発信中!



ありがとう。また来るからね

お客さまとの交流も大事。



いと考えています。

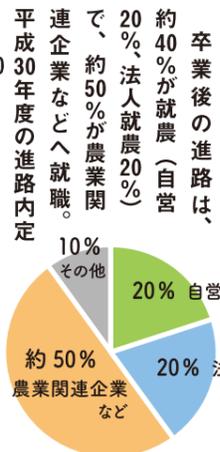
ありがとうございます。ミカン、重いですよ。



「農大ショップ」1日店長の上田です!本日販売する作物の説明をいたします!

から買いに来ゆ。安いし、ものがいい!と、遠方から来る固定ファンもいます。

就農だけじゃない、
高い進路内定率



卒業後の進路は、約40%が就農(自営20%、法人就農20%)で、約50%が農業関連企業などへ就職。平成30年度の進路内定率は100%で、高い内定率を保っています。JAへの就職者も多く、営農指導員などとして活躍しています。

一方で、卒業後すぐの就農は家非農家の場合は難しいのが現状。そのため、法人就農してから独立を目指す人もいます。進路はまだです。農業大学校は農業後継者が行く学校だと思われがちですが、「農業を勉強したい、農業関連の企業で働きたい」という人も入ってもらいたい学校です。高知に農業大学校がある事を知らない人も多く、今後は情報発信にも力を入れ、認知度を上げていきたいと考えています。

寮生活やイベントなどで、仲間づくり

農業大学校の学費は、4年制大学や他の専門学校に比べると比較的安価で学べるのも特徴のひとつ。専修学校のため、奨学金制度を利用することができ、卒業後に就農を目指す場合は国の支援制度も受け利用することができます。学校内には寮が設けられ、1年生の時は入寮が原則。初めは不安を感じることも多いようですが、卒業時には寮生活の思い出が話す学生も。寝食を共にすることで、将来にわたる仲間ができるというメリットも寮生活ならではのよさ。こい祭りや、畜産試験場と茶業試験場と合同で開く年1回の農大祭などの行事も多く、イベントも学生が企画します。定期的に開く「農大ショップ」は先輩から引き継ぎ、1年生が準備から販売まで行います。実習で栽培する果樹や花きの販売は、開店してすぐに売り切れてしまうほど。「もう、10年も前から買いに来ゆ。安いし、ものがいい!」と、遠方から来る固定ファンもいます。



ショベルなどの小型建機の実習もあります



高軒高ハウスでの栽培も学べます

1年次には農業インターンシップ研修で、それぞれ3日間農家と農業関連企業で体験学習をし、2年次には1カ月半の先進農家等留学研修があり、栽培技術だけでなく経営のことや地域活動についてなど、学外での学びも多いため。さらに、卒業論文には地域の課題を取り上げるなど、農家との繋がりも大事にしています。

座学より、実習時間が多いことが特徴の高知県立農業大学校。4年制大学とは異なり、カリキュラムの中で60%前後を実習に充てています。座学で勉強したことが実習で確認でき、実習する中で疑問は座学で、という形です。最近では、スマート農業などの先進技術の習得にも力を入れ、昨年には高軒高ハウスを整備。コンピュータ制御での栽培や、近年普及が進んでいる炭酸ガス発生装置など、実際に現場の農家と同じ環境の中で実習できます。

農家が抱える悩みを、
学生の力で課題解決していきたい。
そうやって農大という位置づけを
上げていきたい。

高知県立農業大学校
野村 守由校長



「未来」につなぐ、
農業人を作る

高知県立農業大学校は、2年制の専修学校で、いわば「農業の専門学校」。農業の教育機関として昭和47年に発足し、平成21年に専修学校化しました。学科は「園芸学科」「畜産学科」の2つで、現在約60人が農業技術や経営について実践的に学んでいます。

農業大学校は、現場ですぐに通用できるような実習が多いのがいいところ。国家資格の勉強などもあり大変ですが、寮で一緒に生活している仲間の存在は大きいです。毎日が充実して楽しいです!



園芸学科1年生 果樹専攻の仲良し4人
和田 健臣さん 山本 洋介さん 上田 一樹さん 窪田 宗祐さん

専修学校
高知県立 農業大学校
(吾川郡いの町)

充実した実習時間と
先進技術も学べる場



輝け！
新農人 12

祖母の味と、 自分の味を掛け合わせた ハイブリットな文旦を作りた

安芸地区
おおきだ かず
大北 和さん(25)
「就農2年目 文旦・ユズ」

冷凍生活アドバイザー 西川 剛史さん 講演会

～高知県野菜を使った美味しく、
いつもの暮らしがより楽しくなるテクニック！～

メディアにも多数出演中で今話題の「冷凍王子」こと、
冷凍生活アドバイザー西川剛史さんをお迎えして、高
知県野菜を使った冷凍術などを教わる特別イベントを
開催します！

2月15日(土) 13:00～15:00
アグリコレット イベントスペース
(高知市北御座 10-10) ※着席ゾーン約40席



【講師プロフィール】
冷凍食品の商品開発などの経験
を生かし、冷凍専門家として活動
中。さらに、冷凍食品開発コンサ
ルタントとして、地方の優れた食
材を使った冷凍食品の商品開発
にも精力的に取り組んでいる。「冷
凍王子」として、テレビ、雑誌な
どに多数出演中。

高知県産のニラを使っています！

第11回 高知の やさいくだもの花 フェスタ

入場無料

2/1(土) 9:00～17:00
2/2(日) 9:00～15:00

高知ちばさんセンター
高知市布師田3992-2

園芸品 展示品評会
展示品は 予約販売 します

県内の美味しいもの大集合!!
農産物・加工品の販売など

2/1(土) 10:00～16:30 ひとくち餃子の 遠天 試食会
2/2(日) 10:00～14:30(数量限定) 中高生花いけバトル

2/1(土) 14:30～ どもぎょうざ教室 無料
フラワーアレンジメント教室 有料
親子野菜教室 無料
上記いずれも人数限定になります

2/1(土) かねとういさお氏セミナー 「もっと暮らしに花を」 10:30～
2/2(日) 西村有加氏セミナー 「もっと食べよう!高知野菜」 11:00～

その場にも 楽しいイベント いっぱい!

ガラガラ抽選会開催!

【お問い合わせ】JA高知県営農販売事業本部 TEL.088-837-6302

「とさのさと」出荷者説明会

令和2年 1月27日(月) 13:30～
JA高知県あき支所会議室(3階ホール)

①集荷拠点の新設について
②とさのさと運営協力会の設置について など

祖母の想いを受け継ぎたい

安芸市井ノ口で、祖母・清子さん
から受け継いだ文旦20アールとユズ
80アールを栽培する大北和さん。「祖
母の味と、自分の味を掛け合わせた
ハイブリットな文旦を作りた」と、
日々奮闘しています。

和さんは高校の進路を決める時、祖
母が作った農作物でみんなが喜んで
いる光景が目につきました。「その場
に生まれる温かい関係を、自分も生み
出したい」。子どもの頃から好きだっ
た料理の道と迷いましたが、料理も農業
も誰かを喜ばせたいと思う気持ちは同
じ。祖母の代で果樹園を終わらせたく
ないと、農業の道を志しました。

高知農業高等学校へ進学し、卒業
後は東京農業大学へ。大学での研究が
きっかけで出合った、土佐市で土佐文
旦を栽培する白木果樹園。3年生か
らインターシブ生として栽培を学び
始めました。初めてのことがばかりで毎
日がハードでしたが、卒業後も青年就
農給付金制度を利用して3年間研修
しました。白木さんから言われたこと
は、「樹に話しかけてもらえようにな
ること」——「すぐく難しいけど、
そこが一番面白い」と、葉の色、実
の大きさ、土の質感などをよく観察
して足りないものを察知することを
学びました。

“衝撃が走る味”を求めて

平成30年9月、祖母から果樹園の

経営を受け継いだ和さん。「いろいろ
な人と関わりながら農業をしたい」
と、日曜日にも出店しています。お
客さんは、祖母が作る少し酸味があ
る昔ながらの味に惹かれた長年の
ファンばかり。「祖母の味を半分残し
つつ、自分が好きなコクのある味を
掛け合わせた。食べたときに衝撃が
走る味”を追求したい」と、和さんの
イメージに近いものは白木果樹園の
文旦の味。「どうすればその味になる
のか、研修を重ねた自分が一番分かっ
ている」と、白木さん一家の農業に
向き合う姿勢を追い続けます。

作った先にある幸せな空間

目指すのは、「自分が作ったもので、
幸せな空間を提供すること。自分が
望む生活水準以上は作らない——その
考え方に、まわりから信用を得てきた
祖母。自分もそうありたいと祖母から
の学びを受け継ぎます。

来年からは、農業を減らすために
ミツバチの飼育や、樹本来の力を引
き出すために草生栽培にも挑戦する
予定。自分たちの世代が環境に配慮
しなければ、次世代へ引き継げない
危機感を持っています。ユズは栽培
や収穫も大変で、一定の規模がなけ
れば生計を立てることが難しく、新
規就農者も親元就農がほとんどです。
もっと負担を減らし、担い手を増や
す方法を、JAや地域で考える必要性
を感じています。和さんは、地域の
未来を見据えます。

高西地区

ようこそJA 教室へ!

第13期 女性大学

なんでも作ろう /
色々つくろう!



和気あいあい 手作りワークショップ

「明るく心豊かに、自分を磨く」ことを目的に始まった、高西地区四万十支所の女性大学。参加者は、毎年変わる様々な講習を楽しんでいます。13年目を迎えた今年度のテーマは「作 Work」。計5回のカリキュラムでスイーツやインテリア作りを学びます。



繊細な和菓子作り。火加減に注意です

カリキュラム1回目は、地域の和菓子店「松鶴堂」の3代目松岡幹幸さんを講師に招き、和菓子作りを学びました。つるんとした葛餅に、朝顔の上生菓子の作り方をしっかり聞いて、いざ挑戦! 「もうちょっと混ぜたほうがえいろうか?」「大きさはこのぐらいで」。おしゃべりしつつも料理に慣れた参加者の皆さんは、どんどん手を動かして、あっという間にやさしい味わいの和菓子ができました。さあ、次はみんなで何を作りましょうか。



もう砂糖入れる?
入れない?



固まってしまう前に、
さっと形を整えます



ツツツヤ、ぶるぶるの
葛餅ができました



笹に包んで、できあがり!



柔らかな桃色の
朝顔も完成



お問合せ先 高西地区本部 組合員課 0880-22-0003

こうぐり 発刊1周年!!

たくさん、おたよりいただきました
ありがとうございます!

広報誌「こうぐり」の創刊から1年が経ちました。これまでいただいた「読者プレゼント」への応募総数は、なんと約5,000通！（1～11月号を集計）たくさんのご応募、ありがとうございました。中には、いろいろなコメントやイラストをいただいています。1年を振り返り、その一部を広報担当者が、ご紹介いたします。

**内容も充実しているので、
家族で回して読んでいます。**

（10月号・安芸地区・70代女性）

「こうぐり」記念すべき1号に目を通せてとても光栄です。読みやすい、見やすい誌面にしようという工夫や努力が伝わるような気がしましたが、そんな寂しさも吹き飛ばしてくれるような賑やかな第1号でホッとしました。

（1月号・高西地区・30代女性）

友人にも直販所に野菜や赤飯を出している方が何人かいます。「こうぐり」を見て野菜作りをしたり、「産地のオススメ」の料理を作り、友達の輪も少しずつ大きくなっていきます。80歳を超える方もとても元気なので、私ももっと頑張らなければと、毎日力をいただいています。これからも楽しい情報をたくさんお願いします。

（11月号・高知地区・60代女性）

「読者の声」がいつもとても楽しみです。家族皆さんに楽しんでもいただければ、これからのいろいろな企画を立てて頑張ります！



統括本部
薬名 李果

「こうぐり」ってどういうことかな？と思っていたら、「高知のめぐり」と説明が書かれていて納得です。キャラクターの説明も書かれていて、名づけがおもしろくステキです！
「コチット、かわいいです♡」

（1月号・高西地区・70代）



かわいいなんて、嬉しいな！
これからも
よろしいコチ〜☆

いつも「こうぐり」がくるのを楽しみにしています。アグリコレットへ一度行きましたが、またゆくりと行きたいと、特集ページを見て思いました。編集・広報担当の皆さん、頑張っていて、いろいろなことを教えてください。

（11月号・土長地区・60代女性）

話題の新「とさのさと」。まだ行けてないですが、注目の御座地区ということも重なってぜひとも行かねば！の想いを強くしました。帯屋町の店舗から知っている者としては、成長が嬉しく楽しい限りです。

（6月号・仁淀川地区・50代女性）

豊洲市場において、高知の野菜・果物等のトップセールスをしたとの記事について注目して読ませていただきました。全国に誇れる高知の野菜・果物について先駆けてトップセールスを行った、積極的に販促をうっていく姿勢が大事だと思います。
**全国にどんどん高知の特産品を
売り出してほしいです！**

（4月号・幡多地区・60代女性）

そう言っていただけであつたのですね！
広報誌でも、高知の農産物の魅力を
どんどん発信していきます！



幡多地区
河野 愛恵

9月には「アグリコレット」も
オープンしました。
ご家族皆様さんとお越しく下さい。



仁淀川地区
坂本 倫子

新農人の方の魅力を
引き出せるよう、努力しています。
私達も取材をしながら、
力をもらっています！



香美地区
井伏 華己

**「輝け！新農人」
農業に前向きにひたむきに取り組み、何より楽しそう。**

向上心を持って努力する姿に熱いものを感じました。
体に気を付けてお仕事してください！

（10月号・安芸地区・50代女性）

実家に帰り、お盆のお墓掃除を頑張っているところ
にJAのお兄さんがこうぐりを配りに来てくれたら
子どもが載っていました。懐かしい友達
と連絡する機会を作ってもらい感謝しています。

（8月号・幡多地区・30代女性）



高西地区
宗崎 紗也

「こうぐり」がきりかっけになったなんて！
地域の広報誌としてこれからは
たくさんの方を紹介します。

読者プレゼントの土佐茶、当選しました！

お茶は安いものしか手が出ないので感動です。いつもならポットか水出しでしか作らないズボラな私ですが、数年ぶりに茶器を出して本格的に作ってみました。家族にも大・大・大好評で、お茶作り大臣に任命されました(笑) お茶の時間ってあの一連の作業を通して心を整えているのだと、この年でしみじみと感じました。ステキな機会をいただけてありがとうございます。

（7月号・仁淀川地区・70代男性）



高知地区
藤井 七絵

「JAグループ高知のTV番組」見たいです！

テレビで放送されていることを今月号のこうぐりを見て、知ることができました。今月は見逃してしまいましたが、9月7日は必ず家族で見たいと思います。

（8月号・高西地区・80代女性）



土長地区
小野 すみれ

プレゼントの当選者を発表してほしい！

（9月号・香美地区・70代男性）他

広報誌作成時期やスペース等の問題で、「こうぐり」では当選者は掲載していません。申し訳ございませんが、ご了承ください。

ときめきは こうぐりを待つ パズル解く

（6月号・高西地区・80代女性）

こうぐりと いつの間にか 慣れてきた

（6月号・仁淀川地区・70代女性）

うれしいな 今もこうぐり 見直して

（6月号・仁淀川地区・70代男性）



安芸地区
竹村 沙矢加

過去の広報誌は、HPから
ご覧いただけます！



今年もよろしく
お願いいたします。



イラストも
たくさんいただきました！
「コチット」も
たくさん書いてくれて
嬉しいコチ〜♡

… イチゴのクレープ …



材料 [4人分]

| [クレープ生地] | [ホイップクリーム] |
|---------------|----------------|
| 卵……………1個 | 生クリーム…………100cc |
| グラニュー糖…………10g | グラニュー糖…………10g |
| 薄力粉……………40g | イチゴ……………適量 |
| 牛乳……………120cc | |
| バター……………10g | |

作り方

- ① ボウルに卵を割り入れ、泡立て器で混ぜ、グラニュー糖と、ふるった薄力粉も加えてよく混ぜる。牛乳を少しずつ加えて混ぜ、冷蔵庫で1時間程度寝かす。
- ② フライパンを中火で熱し、バターを溶かす。キッチンペーパーで余分な油をふき取り、お玉1杯分の生地をフライパンに流す。
- ③ 1分程度焼き、菜箸などで端を持ち上げてひっくり返し、裏面も1分程度焼く。両面が焼けたら皿に取り、生地がなくなるまで②を繰り返す。
- ④ 別のボウルに生クリームとグラニュー糖を入れ、泡立て器で9分立てにする。絞り袋に入れて生地の上に絞り、切ったイチゴを並べて包む。

レシピはホームページからもご覧になれます。👉
ご活用ください！



産地：幡多地区
(四万十市西土佐)



好みの品種選びを楽しんで

四万十市西土佐の桑原宏文さんは、数あるイチゴの品種の中から「さがほのか」を選び、20アールで栽培しています。「さがほのかは甘みが強く、形がきれいです。品種によって味が異なるので、試食しながら好みの品種選びを楽しんでほしい」と話します。

西土佐支所イチゴ部会の部員の1人で、全員が安全安心を第一に出荷しています。桑原さんは「イチゴと生クリームを挟むクレープがお勧め」と教えてくれました。

花のある
暮らしたい

「香美地区」スターチス

変わらぬ姿と心で アートとしても楽しめる花

主流の紫をはじめ、ピンク・青・黄・白などたくさんの方が楽しめるスターチス。分枝した枝に小花を多数つけ、可愛らしくも豪華に咲き誇ります。らっぱ状で花のように見える部分は萼で、その中で控えめに咲く、小さな白色の花が花冠です。

スターチスは花もちがとでも良く、萼片が長期間色あせずに残ることも魅力のひとつで、花言葉は、「変わらぬ心」「途絶えぬ記憶」。11月下旬から4月中・下旬頃まで県外向けに出荷し、切り花やドライフラワー、プリザーブドフラワーなどアートとしても楽しまれています。



生産者 黒瀬 隆司さん



【生け花のポイント】

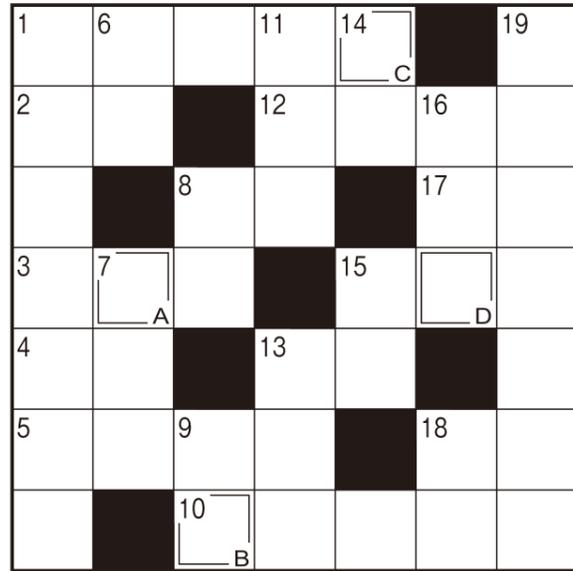
ヒカゲノカズラは神聖な植物で、お正月飾りにぴったり。皇室の引き出物に利用されているおめでたい菓子「金平糖」に見立て、スターチスをワイヤーで束ね、オアシスに挿しました。アクセントには、サンキライ(赤い実)をあしらっています。

クイズに答えてJA高知県の商品をgetしよう!

読者プレゼント



安芸地区のユズ加工品セット
(ゆず果汁・ゆずドリンク濃縮タイプ・ゆずポン酢)



二重マスの文字を、A～Dの順に並べてできる言葉は何でしょう?

答え

| | | | |
|---|---|---|---|
| A | B | C | D |
|---|---|---|---|

郵便はがきに、①パズルの答え ②住所 ③氏名 ④年齢
⑤職業 ⑥電話番号 ⑦今月号で良かった企画
⑧ご意見や感想、つぶやき、川柳などのメッセージやイラスト
①～⑧を必ずご記入のうえ、下記住所までご応募ください。

応募先
〒781-0303
高知市春野町弘岡下中央 2454番 15
JA高知県 組織広報課
「こうぐり」プレゼント 係

※読者の皆様からいただいたお便りの個人情報はプレゼント発送以外には使用しません。



12月号の答え【クリスマス】

クイズ正解者の中から
今回は **抽選で20名様**
応募締切は 令和2年 **1月31日**

プレゼントの当選者発表は発送をもってかえさせていただきます。



応募フォームからもご応募できます。

ヨコのカギ

出題：ニコリ

- 元日の寺社が混雑する理由
- 霊峰も銀峰もこれです
- バイオリンやピオラより大きな弦楽器
- 魚偏に里と書く魚
- 破(わ)れ鍋にお似合いです
- 一____ニタカミナスビ
- 擦りむいた膝やあかぎれに塗ります
- 浅草寺の表参道にある____商店街
- 今より前の時点
- てこの____を利用して重い物を動かした
- グーとパーではパーの方
- 英語ではkingと言います

タテのカギ

- 「生麦生米生卵」とか「東京特許許可局」とか
- 夫の配偶者です
- 生まれたばかりの赤ん坊のこと
- ゆっくりつかって「極楽、極楽～」
- 剣や弓矢、大砲などのこと
- 首の後ろ側の部分
- ____をのんでなりゆきを見守った
- 刑事を意味する俗語
- お酒は飲めない体質です
- こたつに似合う果物
- ♂の記号で表すことも
- だて巻き、数の子、黒豆などを重箱に詰めて用意します

コチットの
直販所めぐり



vol.13

安芸地区「あいあい広場」

オススメ!
旬食材

白菜

地域の人が待ちわびる
美しい冬野菜。



アドバイス!
少し湿らせた新聞紙に包み、
おしりにナイロン袋を被せ白
菜を立てて、冷蔵庫へ保存し
てください。



奈半利町や室戸市など3つのお店から、毎日届く人気のお弁当。午前中はお弁当を買いに来る人で賑わいます。

地域の生産者が、家庭菜園で育てた農産物が並ぶ「あいあい広場」。ヒラタケ、キクイモ、四角豆、はやかなど、珍しい野菜や果物に出合える直販所です。珍しい野菜などはスタッフ手作りのPOPで、食べ方などを添えてアピール。毎月11日は「あいあい(11)の日」として、いつもよりお得な商品に出合えることも! 農産物のほかに、お弁当やお寿司、奈半利味噌、肉なども充実し、魚は地元の漁港から届きます。

寒波と同時にやってくる、冬野菜の旬「白菜」。この時期の白菜は、みずみずしく見た目も美しい。出荷が始まると、地域の人たちは「待っていました!」と言わんばかりに5玉、10玉と箱買いします。大量に購入して、お漬物にして楽しむ人が多いようです。



「あいあい広場」

高知県安芸郡奈半利町乙1810
TEL 0887-38-3597
営業時間 8:30～17:30
(土・日・祝日 8:30～17:00)
定休日 1月1日～3日
販売内容 野菜、果実、鮮魚、肉、花、加工品、雑貨など

